「環境に優しいお買い物」は地球を救う

ユニーが取り組むSDGs

12 つくる責任 つかう責任

持続可能な消費

ユニー株式会社
CSR部　百瀬　則子

持続可能な社会を目指して

エコ・ファーストの約束

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として持続可能な社会構築の取組～

環境大臣　石原 伸晃 殿

ユニー株式会社 代表取締役社長　佐古則男

「未来の子ども達に美しい自然を残したい」

ユニー株式会社は、食品循環資源の再生利用等を推進すべき食品等の小売業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、持続可能な社会構築を目指し、「お買い物」を通して消費者と一緒に地域に根ざした環境活動を推進します。

1 循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。

- 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。
  - 地域のリサイクル事業者・農業者と連携し、地産地消の取り組みとなる食品リサイクルループを2018年度までに全店舗に拡大し、再生利用等実施率80%を達成します。
  - 食品廃棄物の発生抑制を推進し、2018年までに、年間売上高（百万円）当りの食品廃棄物発生量を13kg以下を達成します。
- 有償包装資材の発生抑制の取り組みとして、2018年度までにレジ袋の辞退率80%を達成します。
- 簡易小型家電のリサイクル回収を実施し、限りある資源を有効に循環させます。

2 持続可能な社会（低炭素社会・循環型社会・自然共生社会）構築のために、環境教育を実施します。

- 次世代を担う子ども達に対して、お買い物を通して持続可能な社会を実現するために、学び、考え、行動する環境学習を全店舗において年間1万人の子ども達に実施します。
- 消費者の行動変革により持続可能な社会を構築するために、店舗で環境イベントを開催し、年間5万人以上の消費者にエコライフスタイルを啓発します。
- 店舗での省エネ・再生資源等地球温暖化防止を目指し、当社の従業員及びテナント従業員 年間3万人以上に環境教育を実施し、廃棄物減量・リサイクルを推進します。
- 当社と取引のある環境関連事業者（廃棄物・リサイクル関連等）に、法令遵守・循環型社会構築のための環境教育を実施します。

3 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。

- 環境配慮商品やサービスを、開発・提供することにより、お買い物を通して地球温暖化防止を目指したライフスタイルを推進します。
  - 環境配慮商品の容器包装を環境設計し、バイオマスプラスチック製容器包装の拡大、また20%の商品の容器包装でトップフィルムのリデュースを実施します。
- 地球温暖化防止を目指し、スマートシティを研究し導入を図ります。
- 電気自動車の普及推進のために、大型ショッピングセンター100店舗以上に充電設備を設置します。

ユニー株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

ユニー

ユニーは2008年4月、環境への取組みのトップランナーとして小売業界から唯一「エコ・ファースト企業」に認定されました。

持続可能な社会を目指して

消費者に一番近くで企業活動をしているスーパーは、
低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現した持続可能な社会の構築を目指しています。

- 省エネ省資源、化石燃料を使用削減することなどで、低炭素社会を目指す
- 3Rを推進することで循環型社会を目指す
- 自然環境を保全し、生物多様性を守り、自然からの恵みを消費者にお届けする自然共生社会を目指す

持続可能な社会・・・現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、人間や地球の生きものが共存していく社会を構築していくこと、この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。

SDGsは未来の子ども達のために

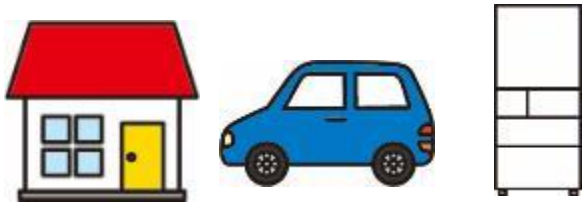
お買い物でCOOL　CHOICE

13 気候変動に具体的な対策を

12 つくる責任 つかう責任

お買い物でCOOL　CHOICE

消費生活を賢く選んで
地球温暖化防止



家・自動車・家電

省エネ型に買い替える
という選択

宅配を1回で受け取る

自宅以外の駅やお店で
受け取る

環境配慮したお店でお買い物……お店を選択

ユニーエコストア

1 太陽光発電

屋上や外壁に太陽光パネルを導入。太陽光で電気をつくり、得られたエネルギーを館内でも使用しています。現在の発電量や使用量をモニターで確認することができます。

2 空調

電気・ガスのハイブリッド空調システムを全館に導入することで、消費電力を大幅に抑えることができます。

3 店舗外壁の壁面緑化

外壁に壁面緑化を導入。ヒートアイランド対策と断熱効果があり、建物の温度上昇を抑え、空調使用量の削減にも繋がります。

4 電気自動充電スタンド

排気ガスを出さない電気自動車のための充電スタンドを設置しました。地球にやさしい電気自動車の普及に貢献しています。

5 自然採光

フードコートのテラスや吹き抜けの高天井などに外光を積極的に取り入れ、照明負担を軽減しています。

6 LED照明

屋外、屋内の照明全てにLEDを採用。消費電力を大幅に削減し、CO_2の排出を抑制します。

毎日のお買い物でCOOL　CHOICE

地球にやさしいお買い物……SDGs

2.1　食べなかった食品を
必要な人に届ける活動
……フードバンク
フードドライブ
子ども食堂

ESDで消費者の行動変革による
持続可能な社会の構築を図る

4.7　持続可能な開発のための教育ESD
……お買い物を通してESDを実践
……体験型環境活動を通して
生産者と消費者を結ぶ

12.3　小売業も消費者も食品廃棄をしない
……食品ロスをなくす活動

12.5　食品廃棄物を3Rで大幅削減
……食品リサイクルループ構築

12.8　小売業は消費者と一緒に
エコライフスタイルを推進する
……COOL CHOICE

13.3　地球温暖化防止を目的にした
お買い物
……COOL CHOICEを展開
…… ESDを広める

14.1　プラスチック容器包装を使わず、
マイクロビーズの汚染防止
……レジ袋を無料配布しない

14.4　海洋資源を保全した水産品を購入する
…… MSC認証水産品の普及

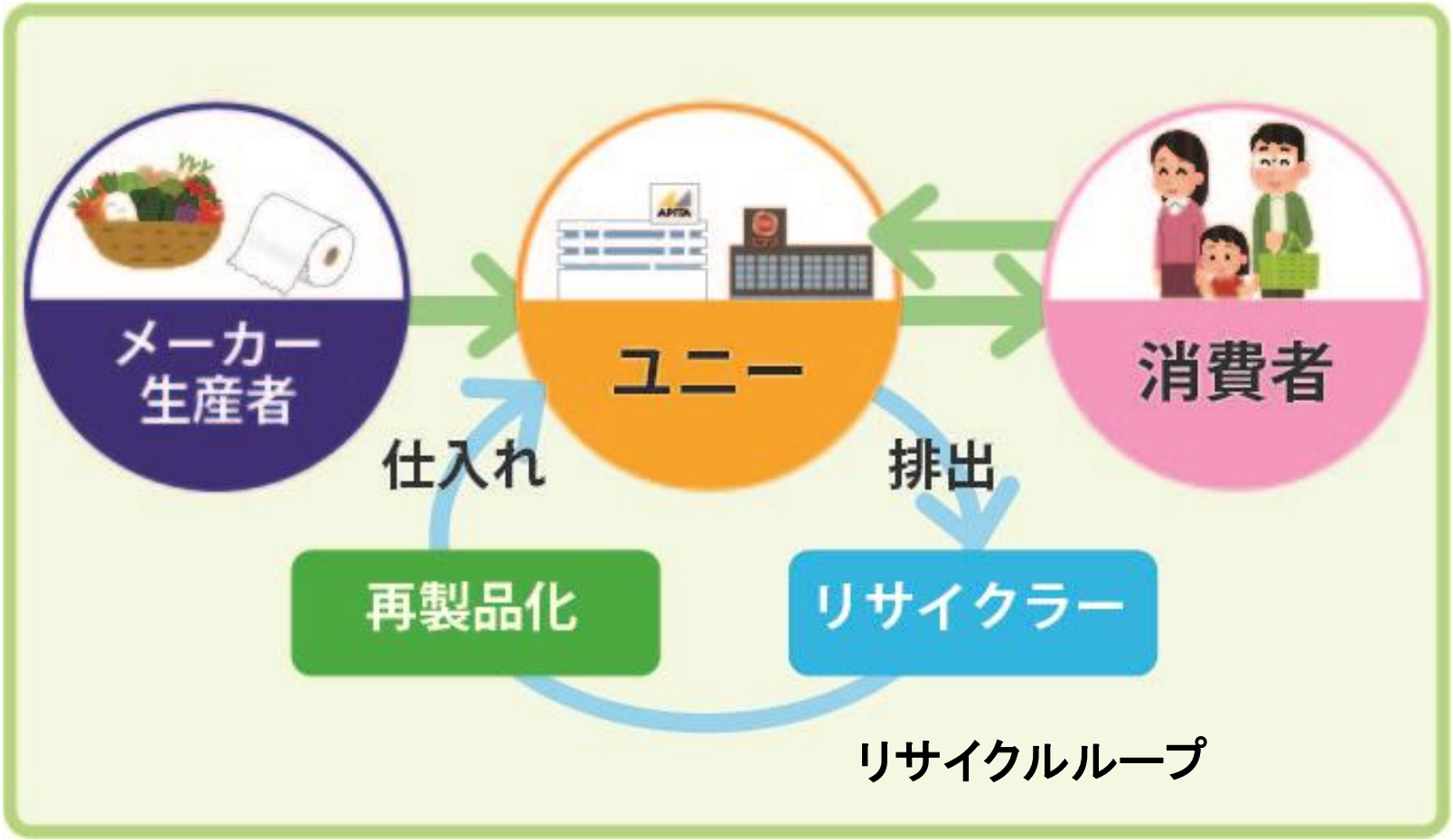
15.1　土壌を保全して、農薬を使わない農業
……地域循環型農業・食品リサイクルループ
……有機農業・オーガニックコットン

15.2　森林資源を保全した製品を購入する
…… FSC認証製品の普及

17.17　バリューチェーンで持続可能な開発
…… 生産から流通、販売、消費、
そして再生利用で持続可能な
お買い物

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

毎日のお買い物で、地球温暖化防止する



スーパーの廃棄物・分別計量

ユニーの店舗では廃棄物を分別・計量して
廃棄物発生抑制、リサイクルを推進しています。

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

リサイクルを推進するための理解活動

全ての従業員への教育を実施…
売場担当者・テナント従業員・清掃業者・催事業者など

●廃棄物分別・計量システムの目的と期待される効果を説明

〇廃棄物は「混ぜてしまえばごみ、分別すれば資源」資源循環の取組み

〇廃棄物を削減することで、処理コストを削減する・・・経営への貢献

〇「未来の子ども達に美しい自然を残したい」地球環境・次世代への責任

「ユニーのゴミ図鑑」と教育用DVD

事務所内の分別箱「ゴミステーション」

モールのテナント従業員の集合教育

廃棄物発生量

◆2016年度廃棄物排出量

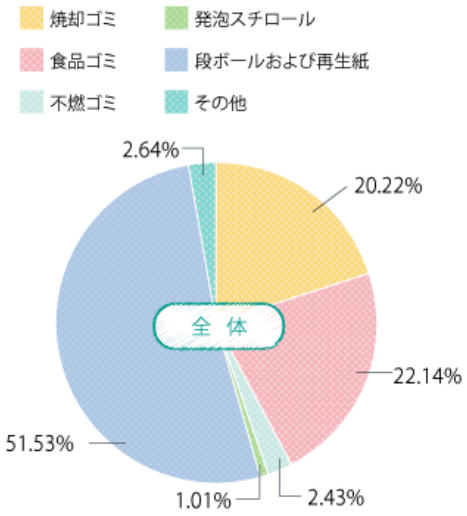
廃棄物の分別・計量により排出量が削減できています。

◆廃棄物排出量

（単位：kg）

区分	種類		2014年度	2015年度	2016年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,990,222	12,086,549	11,879,030	98.30%
		ビニール(食品系)	4,053,758	4,084,461	4,061,951	99.40%
		小計	16,043,980	16,171,010	15,940,981	98.60%
	食品ゴミ	生ゴミ	13,981,999	13,722,833	13,226,350	96.40%
		魚のアラ	2,236,762	2,088,226	2,067,399	99.00%
		てんかす	964,119	981,157	961,169	98.00%
		廃食用油	1,249,435	1,233,678	1,198,550	97.20%
		小計	18,432,315	18,025,894	17,453,468	96.80%
不燃ゴミ		ビン	1,223,503	1,395,634	1,474,210	105.60%
		缶	470,864	446,920	442,294	99.00%
		小計	1,694,367	1,842,554	1,916,504	104.10%
発泡スチロール			829,406	823,188	798,734	97.00%
段ボールおよび再生紙		段ボール	39,826,230	39,175,684	38,181,463	97.50%
		紙類(再生可)	2,507,907	2,459,340	2,438,552	99.20%
		小計	42,334,137	41,635,024	40,620,015	97.60%
その他		プラスチック	439,724	428,814	422,856	98.60%
		ビニール(衣住系)	888,302	866,917	869,186	100.30%
		ペットボトル	378,632	415,764	450,734	108.40%
		陶器・ガラス	107,877	107,794	104,517	97.00%
		金属カス	138,154	145,619	146,069	100.30%
		その他	106,833	96,008	93,809	97.70%
		小計	2,059,522	2,060,916	2,087,171	101.30%
合計			81,393,727	80,558,586	78,816,873	97.80%

◆廃棄物構成比率



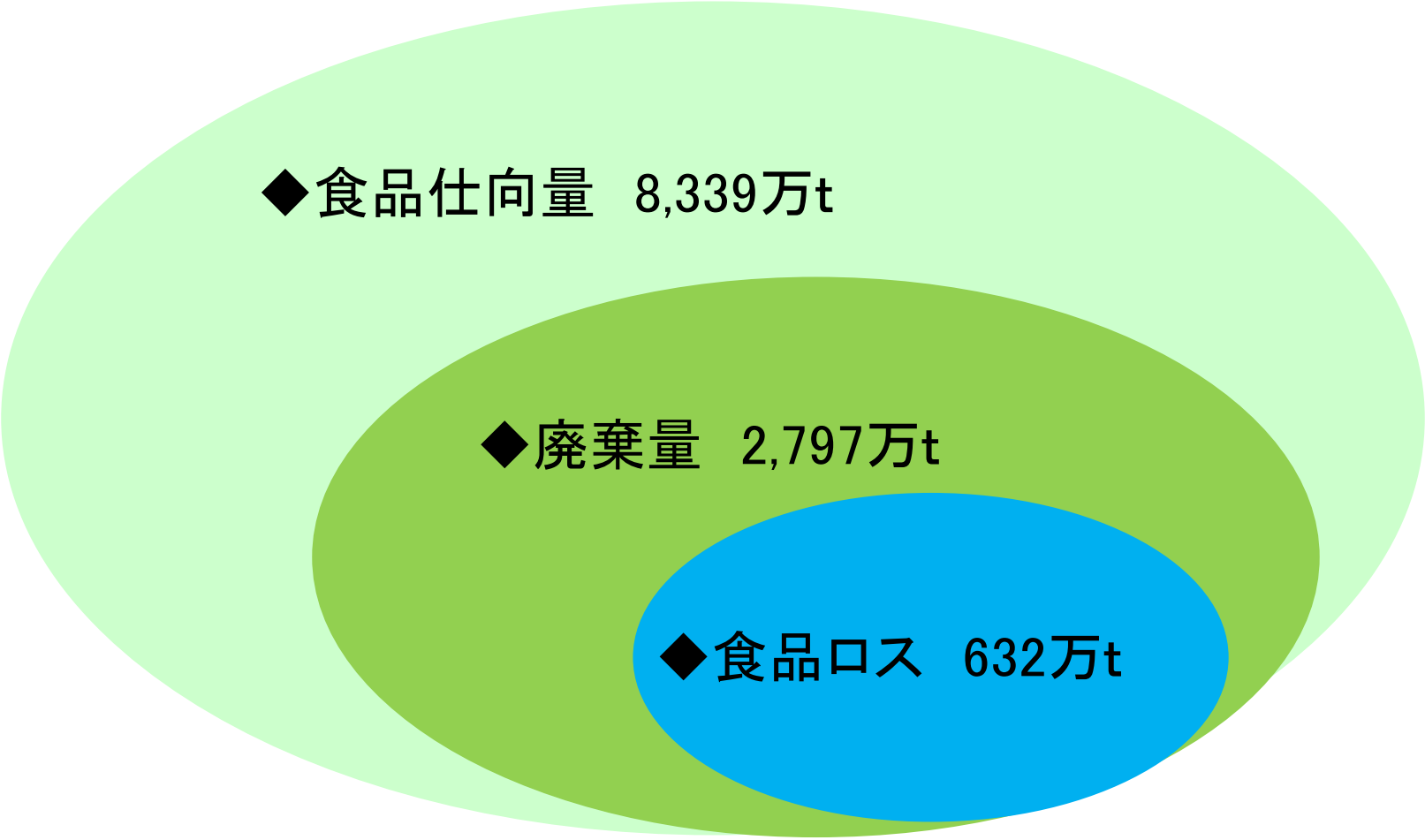
<廃棄物処理費は排出者負担です>

毎月店舗毎に排出量を集計して、テナント・コンセッショナリー毎に処理費(リサイクル費)を負担してもらっています。

廃棄物を削減するとコスト削減に
商品ロス削減で利益確保に

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

食用仕向量……日本で1年間に生産・製造・輸入されている食糧
食品由来の廃棄物量はその33．5%にもなります。



そして、未だ食べられるのに捨てられる食品･･･食品ロス

スーパーから排出される未利用食品

未利用食品の発生原因

●スーパーでは市場や生産地から生鮮食品が搬入され、売り場に出すために調理します。

その時に排出する、野菜クズや魚のアラ、精肉クズなど。

市場

生産地

調理・パック詰
青果の調理クズ
魚アラ、精肉クズなど

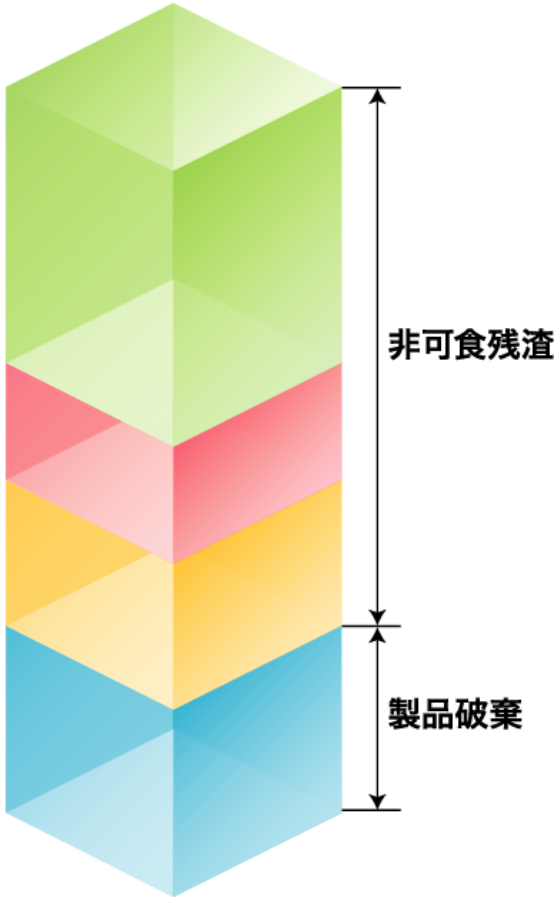
●また惣菜やパンなど店内で製造する際、
飲食店で調理する際に使用済み廃食用油が排出されます。

惣菜など製造・飲食の廃食用油

●飲食店などでお客様が残した食品残渣

飲食の食べ残し

商品の売れ残り（生鮮食品・工場製品）



未利用食品は従来事業系一般廃棄物として、適正処分されていました

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

未利用食品を再生資源化する･･･食品リサイクルループ

未利用食品を再生利用する方法として、堆肥や飼料に資源化し、それを使って生産した農畜産物をまた販売する循環型農業、食品リサイクルループを構築するために取り組みました。

愛知経済連の協力で堆肥を利用するJAあいち海部のエコ部会が成立し、ループが完成しました。

＜課　題＞

- **未利用食品を原料にした堆肥の品質が適正であること**
- **堆肥場を一般廃棄物処理場として、自治体から許可を得ること**
- **他の自治体から未利用食品を搬出･搬入するための許可を得ること**
- **農業生産者が、堆肥を使って生産してくれること**
- **生産された農作物を販売すること**

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

食品リサイクルループによるメリット

食品リサイクルループはバリューチェーンを確立しているので、トレーサビリティーが明確で、生産者の顔の見える安全安心な農作物を消費者に提供できる仕組みです。

①地元の農業生産者との協働なので、地産地消の取り組みになる。

→地域農業活性化につながり、小売事業者も生産者とのつながりができ、魅力のある売り場が作れる。

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

廃棄物の分別・計量で発生抑制とリサイクル推進を図る

一宮市にある堆肥場で未利用食品（生ごみ）を原料に堆肥を製造します。

子ども達は堆肥場で、未利用食品（生ごみ）が堆肥になるところを見学しました。

「野菜クズ」と「魚のアラ」を堆肥場に入れて、発酵させ、
堆肥を作ります。発酵するときにガスが発生して臭気が強く、
子ども達はちょっとびっくり、でも、生ごみを堆肥に
してくれるのは小さなバクテリアです。
ガスを出し、熱を出して堆肥を作っています。

出来上がった堆肥は完熟なので、臭いもなく熱くもない、
さらさらの土のようです。
子ども達は手で触って確かめました。

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

廃棄物の分別・計量で発生抑制とリサイクル推進を図る

堆肥をまいた畑で大根の収穫体験をしました。

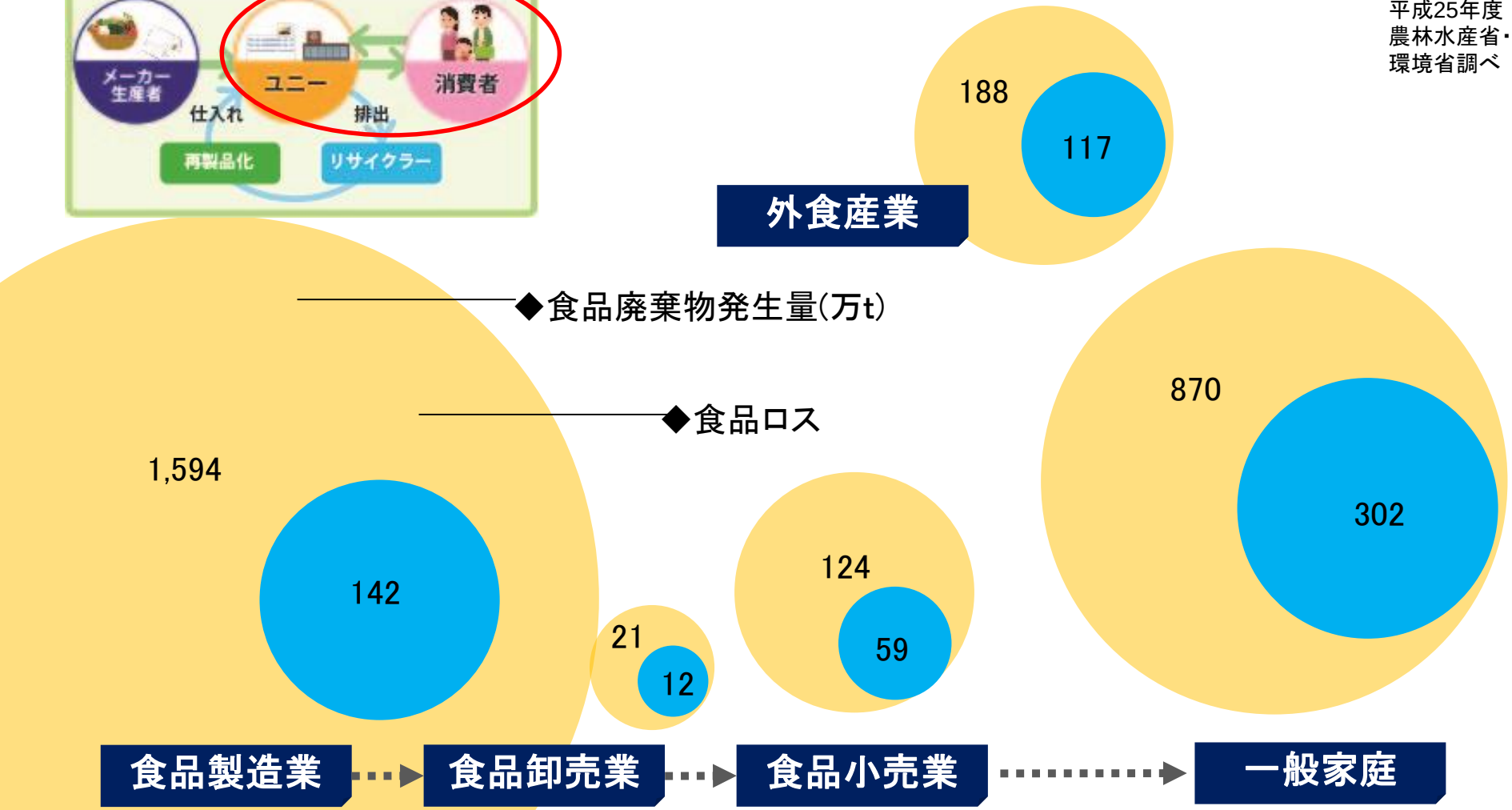
一人2本抜くことになり、
子ども達はどれを抜こうか、
真剣に選んで、一番太くて
まっすぐな大根を探して、
力いっぱい抜きました。

みんな選んで抜いた大根を持ってごきげんです。
大根はいえで待っている家族へのお土産。
自分で抜いた大根はちょっと自慢です。

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

食品ロスを削減する

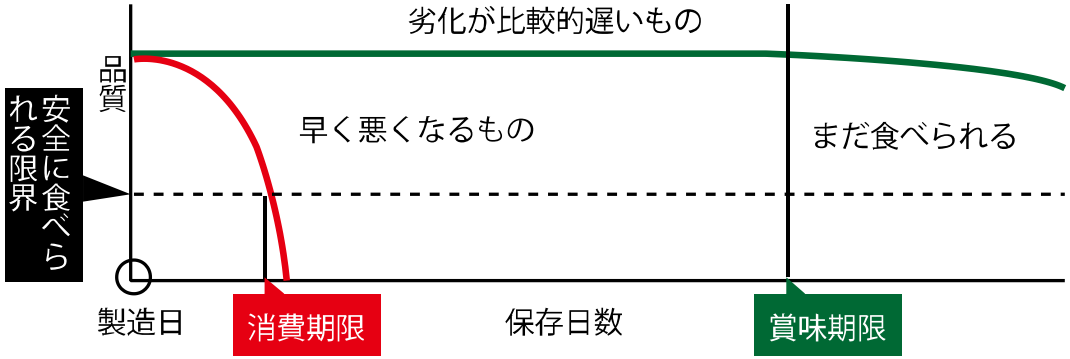
平成25年度
農林水産省・
環境省調べ



消費期限と賞味期限の違いは？

消費期限		賞味期限
期限を過ぎたら食べない方がよいもの	意味	おいしく食べる事ができる期限。期限を過ぎるとすぐに食べられなくなるということはない
年月日で表示	表示	3ヵ月を超えるものは年月で、3ヵ月以内は年月日で表示
・弁当　・生麺 ・サンドイッチなど	対象の商品	・スナック菓子　・レトルト食品 ・カップ麺　・缶詰など

賞味期限と賞味期限のイメージ



賞味期限を左右する主な要因

・食品の水分量　微生物の増殖に影響　・油脂の劣化　香りや風味を損なう
・包装の素材　食品の品質維持に影響

食品ロスを削減するために

非可食残渣はリサイクルループで、飼料や堆肥で再生利用。
製品廃棄（食品ロス）は、商品の適正発注と、日付管理による値引き販売で削減。

図1：食品廃棄物の発生量とリサイクル

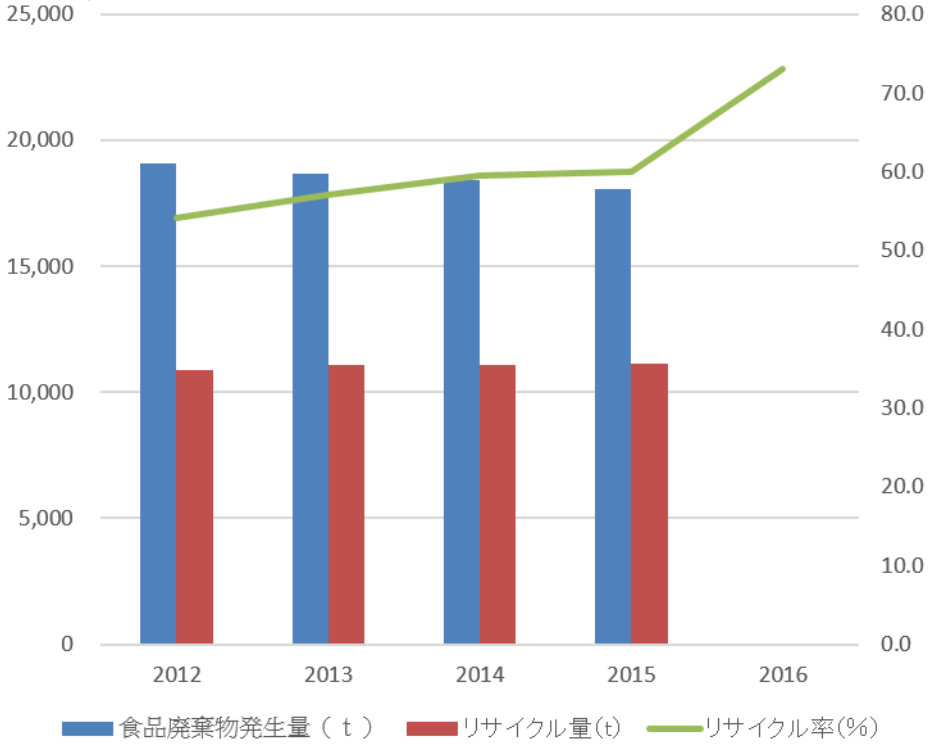
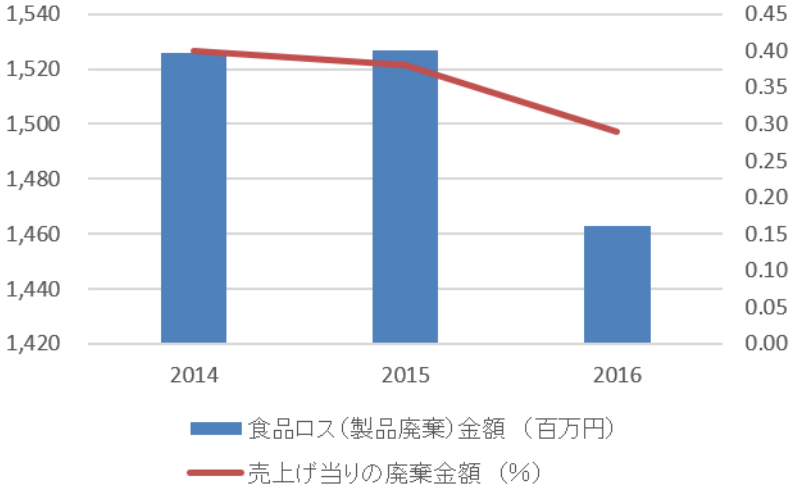


図2：食品ロス（製品廃棄）の発生量と金額



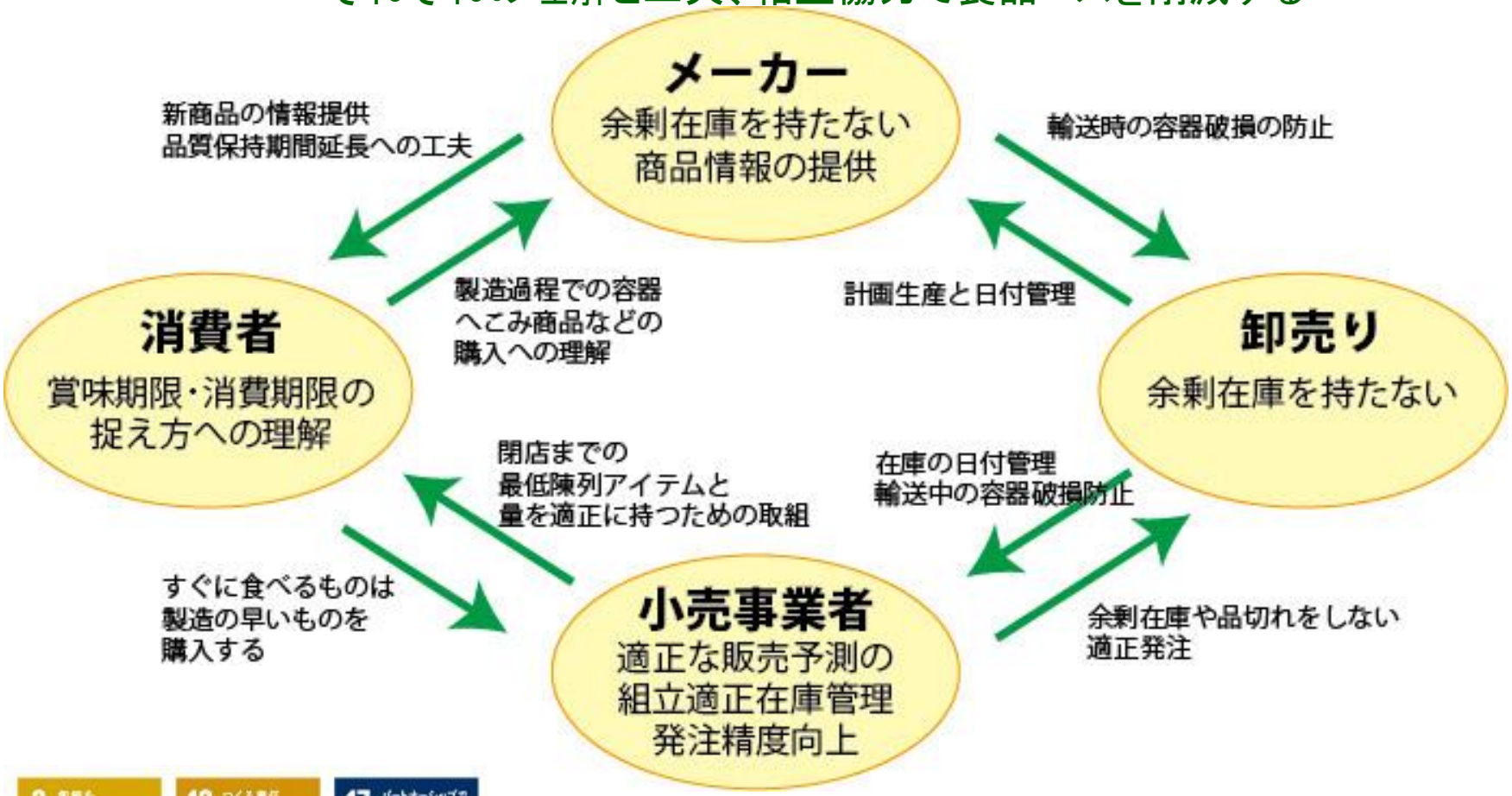
精肉

ドライ食品

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

バリューチェーンの協力で食品ロスを削減する

メーカー・卸売り・スーパー(小売事業者)・消費者
……それぞれの理解と工夫、相互協力で食品ロスを削減する



パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

容器包装リサイクルとCO2削減

セルフサービスで販売しているスーパーでは、容器包装に入った商品を販売し、
また贈答などで包装を承れば紙やプラスチック製の包装を施します。

●容器包装は商品の品質や衛生を保つ役割を果たします。
●手軽に安全に持ち運ぶ役割を担っています。

ところが、これらの使用済み容器包装は、
家庭から排出されるゴミの５０％にもなっています。

これら容器包装を見直すことで、ゴミの削減・資源の節約・CO2の発生抑制を図っています。

①容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み
②使った後の容器包装を廃棄物にしないで再生資源とする取り組み
③サスティナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境にやさしい容器包装

2007年
資料

名古屋市の市民団体や市役所の皆様とキャンペーンを実施

参加店舗全店でキャンペーンを実施し、消費者の皆さんに協力をお願いしました。

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境にやさしい容器包装

2014年辞退率……８６.０％
レジ袋枚数68,454千枚　　616ｔ
リサイクル料　1億6,104万円
関西2県含め全店舗で無料配布中止完了

2016年辞退率……８６.1％
レジ袋枚数63,572千枚　　573ｔ

◆レジ袋辞退率の推移

※2014年2月20日全店でのレジ袋有料化実施

◆レジ袋使用量の推移※1

年度	枚数（単位：千枚）	重量（単位：ｔ）	備　考
2007	310,559	1,818	レジ袋無料配布の中止
2008	309,222	1,851	96店舗で無料配布中止
2009	134,678	1,029	170店舗で無料配布中止
2010	116,749	964	約73%の店舗で無料配布中止
2011	111,632	851	四日市市・弥富市などの店舗が加わる
2012	110,743	839	約80%の店舗で無料配布中止
2013	109,528	821	滋賀県、長野県、愛知県全域で無料配布中止
2014	68,454	616	関東8県、関西2県含め全店舗で無料配布中止
2015	63,288	587	全店での無料配布中止を継続
2016	63,572	573	店舗閉鎖などにより使用量は減少

◆容器包装リサイクル法への対応※2

年度	委託金額（税込）
2007	2億9,729万円
2008	2億7,978万円
2009	2億2,272万円
2010	1億6,655万円
2011	1億6,154万円
2012	1億4,868万円
2013	1億5,866万円
2014	1億6,104万円
2015	1億3,557万円
2016	1億2,489万円

※1 2008年にユーストアと合併し80店舗増える
※2 容器包装リサイクル法に基づき、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払った委託金額
※3 全店でのレジ袋有料化を実施したためプラスチック容器包装が大きく削減された

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境にやさしい容器包装

使った後の容器包装を廃棄物にしないで
再生資源とする取り組み
使用済みの容器包装を店頭回収してリサイクルする。

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を、店頭で回収し、荷物の帰り便でリサイクルセンターに集約します。

店頭回収で収集した容器包装は、リサイクルルートが構築されたものだけを対象にしています。

弥富物流センター内のリサイクルセンター

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境にやさしい容器包装

使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

・使用済み容器包装の店頭回収、再生品を製造して販売(トイレットペーパーなど)

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率(%)	回収量(kg)
2011	217	217	100.0	598,709
2012	217	217	100.0	575,332
2013	220	220	100.0	581,646
2014	223	223	100.0	542,743
2015	223	223	100.0	530,667
2016	220	220	100.0	534,436

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境配慮商品eco!onを販売しています

eco!on

回収された牛乳パックを使った トイレットペーパー

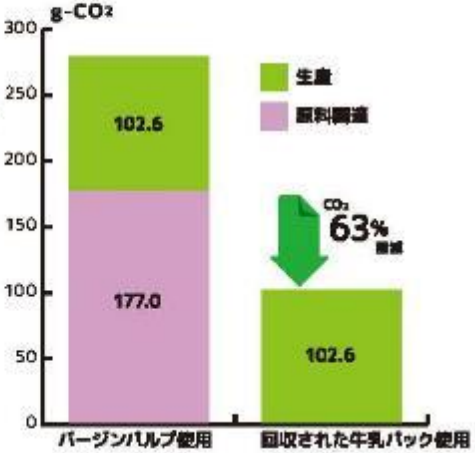
原料に回収牛乳パックを 100%使用した、お肌に やさしい しっとりしたティッシュ。牛乳パックをコーティングしている ポリは工場内の熱エネルギーに再使用しています。

テレビを
約3時間30分
見たときのCO_2

バージンパルプ（木製チップから作った紙）を使用した場合に比べ、１個あたり

CO_2 約177g 削減

CO_2 63% 削減



1 貧困をなくそう
3 すべての人に健康と福祉を
12 つくる責任 つかう責任
17 パートナーシップで目標を達成しよう

環境にやさしい容器包装

■容器包装削減とリサイクルによるCO2削減

●レジ袋を辞退すると、1枚につき30.8gのCO_2が削減できます。

ユニーが2006年に使用したレジ袋……　3億3,363万枚

ユニーが2016年に使用したレジ袋……　6,357万枚

差引　2億7,005万枚削減（CO_2は2006年度対比8,318tの削減）

◆2016年度リサイクル回収によるCO_2削減量

	回収実績（kg）	CO_2削減量（kg）
アルミ缶	680,056	5,848,482
牛乳パック	534,436	267,218
食品トレイ	279,441	1,760,478
ペットボトル	2,352,252	8,468,107
合　計	3,846,185	16,344,285

●リサイクルボックスで回収すると

アルミ缶1kgで8.6kgのCO_2削減

牛乳パック1kgで0.5kgのCO_2削減

食品トレイ1kgで6.3kgのCO_2削減

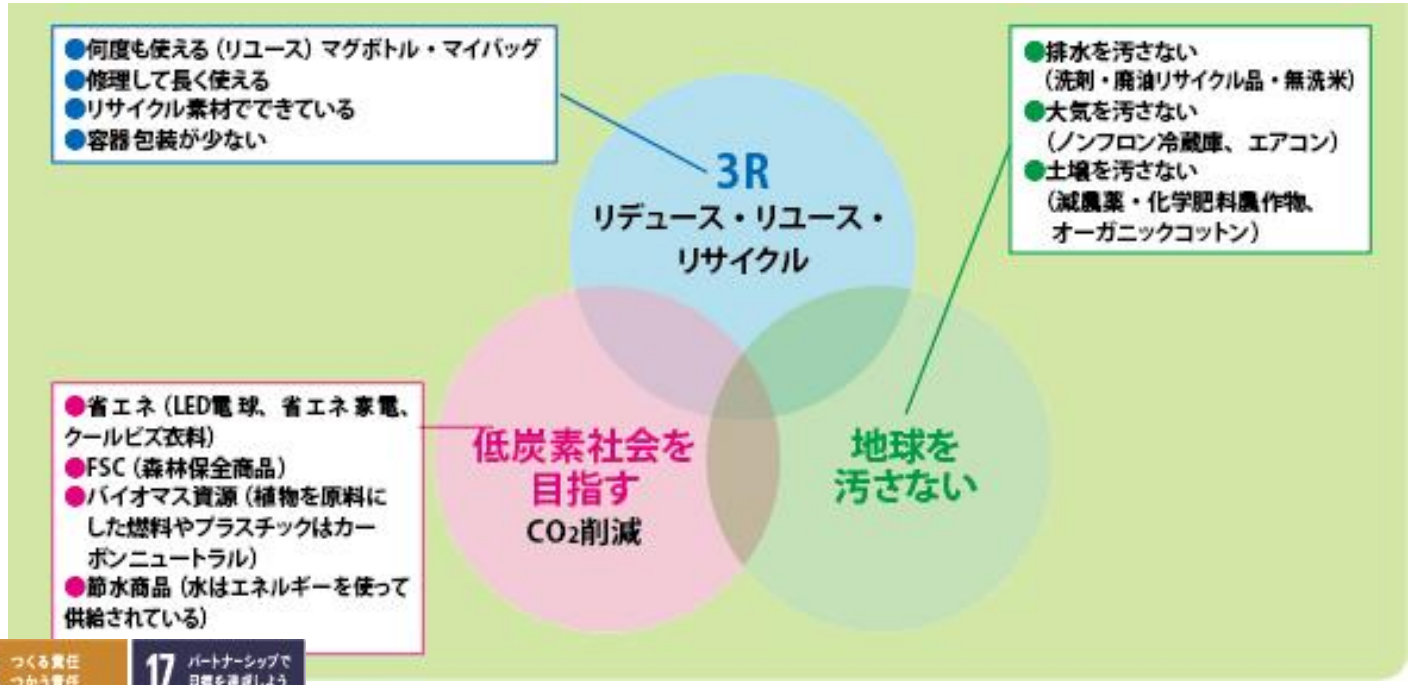
ペットボトル1kgで3.6kgのCO_2削減

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境配慮商品を選ぶ　COOL　CHOICE

◆環境にやさしいお買い物で
エコライフスタイル

毎日の生活を省エネ省資源や3Rといったエコライフスタイルにすれば、持続可能な社会構築に貢献できます。そしてお買い物には「環境にやさしい」という視点で商品を選ぶことがエコライフスタイルです。



パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

■環境に配慮したオリジナル商品 「eco!on」

1. お客様と一緒に育てていく環境配慮型商品です
2. ユニーが定める品質基準を満たしています
3. ユニーが定める環境に配慮した生産条件を満たしています
4. 「eco!on開発プロジェクト」で審査し、第三者審査委員会で評価されます

eco!on
eco on your life
いつもの暮らしにエコ!

eco!onの考え方

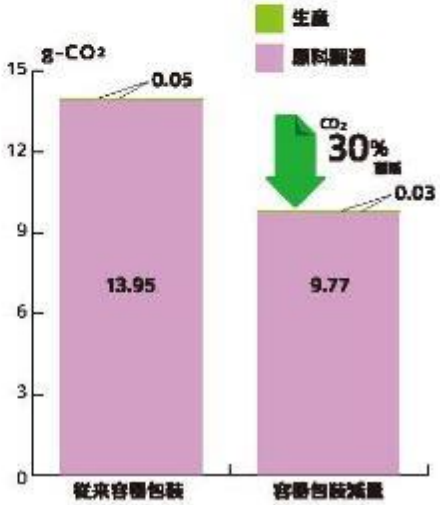
パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境配慮商品eco!onを販売しています

eco!on

マーガリン入りバターロール（容器包装）

従来の包装形態から、留め具の使用を中止し、
袋をコンパクトにすることで容器包装の重量を約 30%削減。



容器包装の重量を約 30%削減することで、1商品あたり

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

環境配慮商品eco!onを販売しています

eco!on

人と環境にやさしい
薬用 泡のハンドソープ

飲食店・小売店の厨房で使用済みとなった揚げ油を回収、
精製して作ったハンドソープ。
植物性油なので手肌にはもちろん、川や海にもやさしい。

原料に廃食油を使用することで、1商品あたり

ESD　環境教育の実施

持続可能な社会の実現には「環境と経済と社会の調和」が必須であるといわれています。
ユニーでは、環境・経済・社会の調和を重視した、ひとづくり・ものづくり・コミュニティ作りを進めています。そのプロセスが人々の学びあい、ESDです。

ものづくり

- ライフスタイルをエコにする商品（eco!on）の開発・販売。エコ商品を社会に提供（販売）し、社会を持続可能にする商品マーケットの創出、消費者の購買行動の変化を進める。

- Re DESIGN PROJECT（リ デザイン プロジェクト）の実施。デザイン学校の学生による未利用資材を活用した商品のデザイン、授産所での生産、ユニーの店舗で販売。次世代と障がい者による環境配慮商品の開発・生産・販売事業。

ひとづくり

- エコロお店探検隊、夏休み自然体験隊、モンキーサマースクール、リサイクル工場の見学、循環型農業体験、企業連携による講座など、自然環境の素晴らしさや資源の大切さに気づく多様な体験学習の実施。

- 「ずっと、一緒に、巡る」をコンセプトにした2013年度インタープリター養成講座。「持続」「共生」「循環」をテーマに、多様なフィールドでの自然体験、農体験、ものづくり、エコクッキングを通した、人と人、人と自然が共生する持続可能な社会をつくるヒントを伝える人材の育成。

コミュニティづくり

- 持続可能な社会づくりのための体験型イベント「エコ博」の開催。店舗を会場に自治体、企業、NPOなどの多様な主体やお客様が参加。環境、福祉、国際協力などの活動の紹介、情報・経験交流の場づくり。
- 消費者の声を届ける「リサーチャーズクラブ」と連携 消費者の声を反映させた「トレイレス」実験
- 認知症の方へのお買い物サポート
- 授産施設が生産した商品の販売による自立支援

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

ユニーのESD･･･次世代を担う子どもたちといっしょに3R

エコロお店探検隊

店長を探検隊長にして、地域の子ども達が店内を探検しながら、お店の環境保全活動や、環境にやさしいお買い物を学びます。

リサイクルの秘密を知ろう　使い終わった容器の行方を見学!

家庭から排出される容器包装をリサイクルステーションで回収しています。回収することで、ゴミではなく新しいものに生まれ変わることを伝えます。

地球にやさしいお買い物をしよう　環境ラベルの意味を学ぼう!

子ども達が身近な文房具についている環境ラベルを探します。普段使用している下敷きやノートにも、リサイクルされたものや環境にやさしい素材で作られたものがあります。

お店の裏側を探検しよう　お店から出るゴミの行方を知ろう!

店舗の裏側を見学します。店舗から出るゴミは19種類に分別し、計量しています。計量することで、ゴミを減らすよう意識を高めます。また、折り畳み式のコンテナを使用し、段ボールの使用抑制に取り組んでいます。

エコ工作にチャレンジしよう　使わなくなったものを材料にした工作体験!

通常なら捨てられてしまう容器包装などを使用したり、自然の素材を使ったエコ工作を行います。捨ててしまえばゴミになってしまうものも工作で生まれ変わります。

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

ユニーの体験型環境イベント　エコ博

2016年6月4日5日に愛知県稲沢市　リーフウォーク稲沢で　エコ博を開催しました。

ユニーブース

エコロキッズ

稲沢：森の学び舎

花王ブース

山崎製パンブース

キリンブース

パートナーシップで進めるCOOL　CHOICE

お買い物でCOOL　CHOICE　　未来のために賢く選んでお買い物

●使い終わった容器包装はリサイクルボックスで　COOL　CHOICE

COOL CHOICE

未来の
ために、
いま選ぼう。

●環境配慮商品　eco!onを買うと　COOL　CHOICE

COOL CHOICE

未来の
ために、
いま選ぼう。

●スーパーへは電気自動車で・・・　COOL　CHOICE

COOL CHOICE

未来の
ために、
いま選ぼう。

100年後の子ども達のために